

関西地方支部 令和 7 年新春旗開き
200 人が懇親を深める

1 月 10 日の午後 4 時から関西地方支部大会議室において、5 年ぶりの新春旗開きを開催し、職場委員を含む現場組合員、全国海友婦人会、関係各社や関係議員など、約 200 人が集まった。

はじめに主催者を代表して浦隆幸関西地方支部長から「全日本海員組合発祥の地で輝かしい年の初めを皆さまと祝う事ができ、心から感謝とお祝いを申し上げたい。神戸の街は活気づいており、持続可能な成長を港町神戸から日本全国へ発信していきたい」とあいさつした。

続いて本組合を代表し松浦満晴組合長からあいさつがあり、その後、各ご来賓からの祝辞を終えて、司会者の音頭で会場全員の「よいしょ・よいしょ・よいしょ」のかけ声とともに鏡開きが行われた。

乾杯の音頭は、現場組合員を代表し、阪神職場委員懇談会の神原将平会長（八馬汽船職場委員）が行い、参加者は懇親を深めた。

中締めは、新丸菱海運の福本誠職場委員の音頭で一本締めが行われ、和やかな雰囲気新春旗開きを終えた。

「海員だより」